

北海道読書推進運動協議会

# 北読進協だより

第17号



「E本よもう！どらねこ倶楽部」（北海道表彰）  
あやしいおっさん風のいでたち、その名も「裏ドラ」！

>>> 平成20年度優良読書グループ表彰特集 <<<

- 全国優良読書グループ表彰（主催：（社）読書推進運動協議会）
- 優良読書グループ北海道表彰・北海道地域活動振興協会理事長賞  
（主催：北海道読書推進運動協議会）
- 野間読書推進賞（主催：（社）読書推進運動協議会）

# 特集 優良読書グループ表彰

読書推進団体の草分けである（社）読書推進運動協議会は、昭和43年から「読書週間」の文化の日に合わせた「全国優良読書グループ表彰」を主催し、各都道府県から1グループずつ表彰してきました。

北海道読書推進運動協議会では、この全国表彰に加えて、昭和62年から、独自の表彰を毎年行い、地域で活躍する読書グループを表彰しています。平成17年度からは、財団法人北海道地域活動振興協会理事長賞も創設され、毎年合わせて8グループを表彰しています。

本特集号では、今年受賞された、優良読書グループを紹介します。

また、今年度は、当会で推薦した「十勝子どもの本連絡会」が野間読書推進賞を受賞するといううれしいニュースもありました。野間読書推進賞は、（社）読書推進運動協議会の主催で、団体で受賞できるのは全国で2グループ以内という難関の賞です。合わせて紹介します。

## ◇ 過去3年間に表彰を受けた読書グループ ◇

年度	表彰	管内	市町村名	受賞グループ名
2008	全 国	石狩	当別町	おはなしサークルたんぼぼ
	北海道	石狩	恵庭市	おもちゃばこ
		檜山	厚沢部町	お話ポケット
		空知	滝川市	東小学校 PTA 読み聞かせボランティア「おはなしの会」
		十勝	池田町	E本よもう！どらねこ倶楽部
		釧路	釧路市	おはなしポケット
		北海道地域活動振興協会理事長賞	石狩	当別町
	檜山		今金町	マザーズぼけっと
	空知		月形町	おはなしじゃんけんぽん
2007	全 国	十勝	帯広市	十勝童話会
	北海道	石狩	千歳市	おはなしの会「ピノキオ」
		石狩	江別市	読み聞かせボランティアの会
		空知	岩見沢市	こども読書会ボランティア
		留萌	留萌市	ボランティアサークル 手づくり布の絵本「ひよこの会」
		胆振	白老町	おはなし会トトロ
		北海道地域活動振興協会理事長賞	空知	滝川市
	留萌		留萌市	おはなしの「もこもこ」
	十勝		大樹町	源氏を読む会
2006	全 国	上川	旭川市	旭川文庫読書会連絡会
	北海道	石狩	札幌市	おはなしの会「てるてる」
		石狩	江別市	風の子文庫
		空知	由仁町	おはなし会「わらべ」
		網走	湧別町	こぐま会
		網走	湧別町	リーディング倶楽部たんぼぼ
		北海道地域活動振興協会理事長賞	十勝	大樹町
	釧路		厚岸町	ちいさな絵本箱
	根室		根室市	中高生ブッククラブB・LOVERS

## 全国表彰（主催：（社）読書推進運動協議会）

### おはなしサークル たんぽぽ（石狩管内 当別町）

#### 【 団体の概要 】

設立年 昭和 61 年

会員数 22 名（うち子ども 代表者名 中 田 佳 子  
会員 12 名）

平成 9 年度優良読書グループ北海道表彰

「おはなしサークルたんぽぽ」が全国表彰、「絵本交流会」が北海道表彰と、当別町で W 受賞となりました。代表の中田さんにお話をうかがいました。

#### 親子で会員に

たんぽぽは、親子で会員になるシステムです。子どもが保育所に入所すると“卒業”ということになります。そのため、メンバーの入れ替わりは他のサークルより頻繁ですが、それでもこうして 20 年以上も続けてこられたのは、創設時のメンバーのおかげだと思っています。このグループを立ち上げた人たちが、その後、別のサークル「絵本交流会」を結成し活動を続けていますが、この人たちの熱意、情熱が今も言い伝えられていて、私たちの活動の原動力となっています。



今でも、「絵本交流会」にはお願いして講演をしてもらうこともあるし、そのときは読み聞かせの助言をしてもらうだけでなく子育ての相談もしたりと、大切なコミュニケーションの場になっています。

#### 活動内容

毎週 1 回のおはなし会や季節行事のほかに、グループ結成当初から「絵本に親しむ講演会」を毎年主催しています。

代表がリーダーシップをとって講師などを決めますが、代表は 1 年交替のことが多く、私の場合も、それほど負担に感じずにすすめることができました。高齢者にも呼びかけ、子どもから大人まで 200 名を超える人たちが集まり、世代交流の場ともなっています。

#### ほのぼのと

絵本が好きなお母さんが集まって、ほのぼの、あったかい、癒し系サークルです。集まりに参加するたび、ほっとします。

ゲーム・パソコン・携帯電話など、便利な世の中ですが、その中で、絵本は必要なもの、大事な部分だと、自分たちの子どもの世代に伝えていきたいと思っています。

## 北海道表彰

### おもちゃばこ（石狩管内 恵庭市）

#### 【 団体の概要 】

設立年	平成5年	代表者名	石山典子
会員数	5名		

ミュージックパネルでにぎやかに会場を盛り上げるグループです。オリジナル曲も2曲ほどあるそうです。代表の石山さんにお話をうかがいました。

#### 活動内容

恵庭市立図書館島松分館で、ボランティア募集に参加したのが、グループ設立のきっかけです。当初は、キーボード担当の私と、読み聞かせ担当の保育士の2名で、「今月の歌+読み聞かせ」という構成でした。

今は会員が5人に増え、ミュージックパネルを中心に、レパートリーは20曲を超えています。本館と島松分館で、それぞれ月1回ずつの活動を基本に、「としょかんこどもまつり」に参加したり、ブックスタートでの読み聞かせ活動に参加したりしています。

#### 続けてこられたのは

自分たちが活動を楽しんでいることが大きいと思います。もちろん、子どもたちの反応・表情・ことばかけなども励みになっています。グループ内のチームワークも良く、経験の積み重ねによって少しずつ自信もついてきました。

気負わず、肩に力を入れないで、できることから、楽しんで、活動を続けていきたい、と思っています。そういう活動をするグループが、どんどん増えていってほしいと思います。

#### これから

なんと言っても、活動の「場」を提供していただけることに本当に感謝しています。

おばあちゃんになっても続けていきたい。子どもにだけでなく、老人ホームなどにも出かけたと思っています。かぶりものとか、手遊びとか、構想が色々あります。

これからも、聞き手と共に楽しんでいけたら、と思っています。



## 北海道表彰

### お話ポケット（檜山管内 厚沢部町）

#### 【 団体の概要 】

設立年 平成 14 年

会員数 10 名

代表者名 石 田 幸 子

「無理なく、楽しんで」と言いながらも、チャレンジ精神が旺盛な、代表の石田さんにお話をうかがいました。

#### 活動内容

厚沢部小学校の保護者が中心になって立ち上げ、主に小学校で活動しています。

グループ結成当初は、どうい絵本を選んだらよいかも自己流で、町内の館地区で先に活動していた「館っ子お話の会」にアドバイスを受けながらのスタートでした。

読み聞かせの絵本を選ぶのが、大変だけどとても楽しい時間となっています。メンバーが集まり、雑談を交えたり脱線なんかもしながら選んでいます。

メンバーは仕事を持っている人が多く、仕事をしていなくても子どもがまだ小さかったりで、10人みんなが同じように活動できるわけではありません。学校での活動に子連れで行ったこともあったりと大変なときもありますが、それでも続けていきたい人たちが集まっています。これからも、無理のないペースで、学年毎に年5回、続けていきたいと思っています。



#### 「また聞きたい」

小学校の他に、町図書館のクリスマス会や町民文化祭でも読み聞かせや紙芝居、人形劇などの上演を行っています。

ほかに、保健福祉課のさわやか教室にも協力しています。子どもの笑顔はもちろんうれしいですが、老人相手は、子ども相手とはまた違って励みになります。集中して聞いてくれるし、終わった後に「おもしろかった」「また聞きたい」とか言葉にして言ってもらえるのがとてもうれしいんです。

#### これから

今は大型絵本などは借りて読んでいるのですが、ほかにも大型絵本で見せたいおはなしがたくさんあります。これからは、ぜひ、手作りに挑戦したいと思っています。もっともっと子どもたちに楽しんでもらえるよう、いろいろチャレンジしていきたいと思っています。

## 北海道表彰

### 東小学校 PTA 読み聞かせボランティア「おはなしの会」

(空知管内 滝川市)

#### 【 団体の概要 】

設立年 平成 15 年

会員数 14 名

代表者名 筒井 明 美

代表の筒井さんにお話をうかがいました。写真は、手作りの「絵巻絵本」です。

#### 得意なことを持ち寄って

滝川市立東小学校の「東小人材バンク」(保護者や校区の住民による登録ボランティア)の中で、読み聞かせ活動を希望した人たちが発足しました。

メンバーは保護者が多いので入れ替わりもありますが、保護者 OB として活動を続ける方もいます。絵本が好きなもの同士が集まって、それぞれ得意なものを活かしあって、楽しく続けています。絵を描くのが得意だったり裁縫が好きな人たちで、ペープサートやパネルシアターを作ったり、即興で絵本に合わせて曲を弾けるメンバーもいますよ。

#### 活動内容

東小学校で、毎週1回、3人ずつ交替で20分休みに読み聞かせを行っています。主に、1・2年生が対象ですが、高学年の子が見に来てくれることもあります。

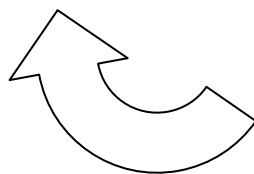
学校のイベント「東のまつり」でブラックライトシアターや人形劇を披露したり。

市立図書館の読書週間事業「ゆかいなたまたまてばこ」や中空知広域市町村圏組合のイベントに参加したり、隣町のデイ・サービスセンターに招かれて読み聞かせをしたり、学校以外での活動もあります。

定例の読み聞かせの後に練習をしたり、市立図書館などの講習会に積極的に参加するようにするなど、技術の向上も心がけていますが、何よりも、私たち自身が楽しく続けていけたら、と思っています。



どこまで のび~る?



## 北海道表彰

### E本よもう！どらねこ倶楽部（十勝管内 池田町）

#### 【 団体の概要 】

設立年 平成 13 年

会員数 10 名

代表者名 杉 山 知 子

代表の杉山さんからの寄稿をもとに、事務局で編集しました。メンバーの気合いが伝わる「どらねこしんぶん」を再掲できないのがとても残念です。

#### はじめは・・・

ある日、児童書・絵本の、読んでもらう楽しさ、聞いてもらえる楽しさを知っている者達が集まる機会がありました。そこで、自分たちの子どもがもう大きくなってあまり話を聞いてくれない、という話題になり、それなら聞いてくれる子どもたちを捜しにいこう！ということで2001年2月14日にグループを立ち上げました。

#### 活動内容

定期の読み聞かせは、町内の小学校、保育所、支援センターを月に1～2回行っています。町内のイベント、福祉関係、学校の特別行事などに出前で行くこともあります。

読書会は月に1回、活動報告や本の紹介を行います。

「どらねこしんぶん」を年4回発行し、活動内容や本の紹介をしたり、テーマを決めて各メンバーに記事を書いてもらっています。

縁があればイベントを企画することもあります。平成18年には、「おはなしおばさん」こと藤田浩子さんを迎え、子どもから大人まで楽しい時間を過ごしました。（写真はそのときの光景です）



#### お話の種を蒔いて

“E本”のEはENJOYの意。本で大人も子どもも楽しい時間を持ちたい。

“E本”のEはEASYの意。のん気にみえて深い本を紹介したい。

“E本”のEはEAT（美味しい本）、EASE（ゆとりを取り戻せる本）・・・

このゆるさをまじめに、楽しめるのが継続のコツでしょうか。

長年活動していると、楽しい本ばかりではなく、子どもたちを取り巻く様々な課題も見えてきます。それを踏まえ、読書活動の意味を考えつつやっていきたいと思えます。

子どもたちが自分だけの物語に出会えるように、「お話の種」を蒔いていきたい。その種が、少しでも芽が出るように祈りながら、ゆっくり続けていきます。

#### あとに続くグループに・・・

楽しいことも面倒なことも含めた面白い活動をめざして、あきらめずにやっていきましょうね。

## 北海道表彰

おはなしポケット（釧路管内 釧路市）

### 【 団体の概要 】

設立年 平成元年

会員数 13名

代表者名 太田 豊子

阿寒町公民館（現釧路市）の読み聞かせ講習会の修了生が、「ドラえもんのポケットみたいに、どんな夢のあるおはなしが出てくるポケットを作ろう！」と結成したグループです。

10周年記念誌では、阿寒から転出したため退会した元メンバーからの寄稿も数多く掲載され、グループの楽しさが伝わります。

代表の太田さんにお話をうかがいました。

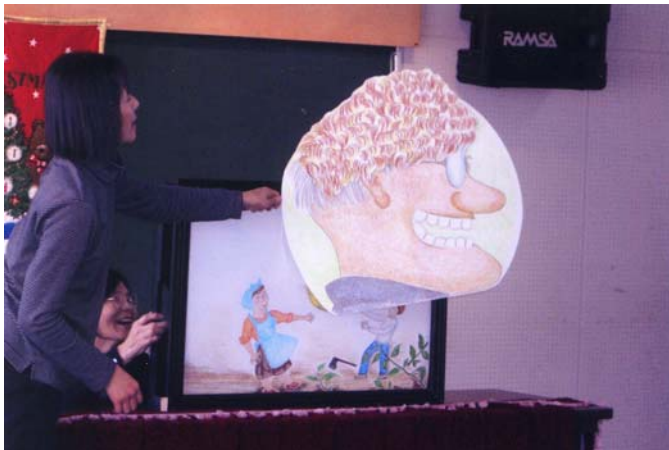
### 活動内容

阿寒町公民館図書室での週1回の読み聞かせのほか、声をかけられて、阿寒地区の学校や養護老人ホームでも活動しています。

子どもたちとふれあえるのがうれしくて、今日まで続けてきました。子どもたちの笑顔が本当に励みになります。

例会を毎月開き、その記録を中心に会報「おはなしポケット便り」を発行しています。19年間、メンバー回り番で続けてきました。メンバーの転勤のため会員数が半分ほどになったこともありましたが、若いお母さんに声をかけて、現在は13人に戻っています。

### 継続は力なり



図書室で読み聞かせを続けていると、子どもが減ってきているのを感じます。それに小学校に入学すると、少年団などに入って公民館にはあまり寄らなくなるようです。でも、継続することに意味があると思うので、聞き手の子どもが1人、読み手3人の時があっても、めげずに続けることが大事だと思っています。かつて聞き手であった子どもたちが成長してサークルの一員となるなど、続けてきたからこそ、うれしいこともあります。

クリスマス会はいつも、少し大きなことをします。大型紙芝居などを新しく制作することが多いのですが、今までもう十いくつか作ってあるので、昨年はその中から評判のいい作品を選びました。

あまり意識していませんでしたが、いつの間にか今までの積み重ねが大きくなっていることを、このたび実感したところです。



## 北海道地域活動振興協会理事長賞

### 絵本交流会（石狩管内 当別町）

#### 【 団体の概要 】

設立年 昭和 63 年

会員数 7名

代表者名 堀 田 則 子

「おはなしサークルたんぽぽ」（全国表彰受賞）を卒業したお母さんたちが集まって結成したグループです。「私たちのグループでいいの？」というのが正直な感想、と謙虚な代表、堀田さんにお話をうかがいました。

#### 次の世代に伝えたい

「たんぽぽ」を卒業したお母さんたちが、「おはなし交流会」として、作者研究などの絵本の勉強会をしていたのがこのグループのはじまりです。当時、「たんぽぽ」で活動していた私たちは、絵本を選ぶときにその資料を参考にさせてもらったりしていました。

私たちが「たんぽぽ」を卒業し、「絵本交流会」の活動に加わるようになって、これから何をしたいか、と改めて考えたときに、勉強より、読み聞かせをすることで“絵本の大切さを次の世代に伝えたい”という思いが強かったのです。それで、読み聞かせ活動を合わせて行うようになり、現在まで続けています。

#### 活動内容

保育所2か所と小学校やデイサービスセンターなどで読み聞かせをしています。

小学校では1～3年生の学年毎に週1回、つまり学校だけでも毎週3回出かけています。少ない人数でよくできる、と感心されることもあるのですが、メンバーがお互いに融通をきかせあいながらやっています。みんな、働いたり子育てをしながらなので、いつでも全員が同じように活動できるわけではありません。あらたまって決めごとをしているわけではないのですが、長くやっているせいか、お互いに助け合いながらなんとなく調整できている、という感じです。

コミュニティ・センターでのおはなし会が一番長いのですが、実は減少傾向なのです。でも、親子で参加できるのはそこしかないので、大切な場として続けていくつもりです。

#### これから

活動の参考にするためにとのことで、平成 16 年から、民生児童委員の集まりに呼ばれて読み聞かせを披露しています。昨年はクリスマスの時期に呼ばれました。声がかかる範囲が広がっているのを感じます。

いつもと違う場所、いつもと違う相手に読み聞かせをすると、原点に帰る気がします。

無理をせず、それぞれがそのときできることをして、自分たちの持てる力で背伸びせず、これからも活動を続けたいと思っています。



## 北海道地域活動振興協会理事長賞

### マザーズぽけっと（檜山管内 今金町）

#### 【 団体の概要 】

設立年 平成 15 年

会員数 8 名

代表者名 小 川 ひ と み

ブックスタート、幼稚園、小学校、いまかね図書まつり、介護老人福祉施設…すべての年齢層を対象に活動を展開しているグループです。代表の小川さんにお話をうかがいました。

#### 活動内容

今金幼稚園の絵本の部屋を整備するにあたって、本好きのお母さんたちが集まったのが、グループ設立のきっかけでした。

絵本の部屋で毎週、読み聞かせをすることから始まって、声がかかるままに受けていったら、自然と活動の場が広がりました。呼ばれて行くので、いつも会場は満員御礼。やりがいを感じるし、日々楽しく活動しています。

メンバーは自営と臨時勤務の人が多く、時間の都合がつきやすいということもありますが、活動を始めて3年目に、町の読書推進の施策と重なったのが大きいと思います。教育委員会のバックアップがあり、恵まれた環境におかれていることに感謝しています。

介護老人福祉施設の場合、わかりやすい話を選んだり、大型紙芝居にしたり。「ねぎぼうずのあさたろう」はいつも大好評で、アンコールで2回上演したこともあります。

図書まつりの企画・運営をしています。町全体をあげての一大イベントで運営者が幅広く、高校生ボランティアから80歳を超える人まで、多くの人たちが関わります。活動の広がりを感じるし、活動が認められている実感があります。

町外の研修などに発表者や講師として出かける機会がありますが、勉強の場として受け、そこで得たものをグループに還元するようにしています。

#### これから

2年後に、今金町で「北海道子どもの本のつどい」が開催されます。他の団体との交流が、今からとても楽しみです。数年前に函館で開催されたときには、メンバー全員で参加し、色々なグループとふれあって大変刺激を受け、みんな、やる気満々で帰ってきました。

活動は無理のないように——そうは言っても楽しいから、やりくりして参加することが多いのですが——これからもずっと、自分の居場所、ライフワークとして、みんなで続けていきたいね、とメンバーで話し合っています。家庭とはまた別に、地域活動の場として、大切にしたいと思っています。



## 北海道地域活動振興協会理事長賞

### おはなしじゃんけんぽん（空知管内 月形町）

#### 【 団体の概要 】

設立年 平成6年

会員数 7名

代表者名 木 須 裕 子

代表の木須さんからの寄稿をもとに、事務局で編集しました。授賞式にはマスコットキャラクターのぼんちゃんも同席したようです。

#### 活動内容

町図書館での月1回のおはなし会を中心に、小学校や幼稚園、高齢者のつどい等に、出前のおはなし会にも行っています。手描きのポスターが大好評です。

主催事業で大きなものとしては、今年3回目となった「月形おはなしたまてばこ」があります。来場者が帰った後には、「すごくおもしろかった」など、かわいいアンケートがたくさんありました。こうして楽しいイベントにできたのも、文化関連で知りあった多くの方々が、力になってくれたお陰です。

毎年、この達成感は、私達の大きな活力源になっています。

#### 聞き手の顔を想像しながら

企画を考えるときは、「あなたが読むといいんじゃない?」「本物持ってきて見せようか」などと、メンバーそれぞれの個性を生かしたり、自分達も楽しんで。会終了後は、改善策を考えたり、上手くいくと喜び合ったりして向上を目指すこと。そして、お互い、個人的な都合もフォローし合える仲間であることが大切だと思っています。

活動の中で心に残ったのは、「今度の小学校、内容が物足りない」と思い、社会教育係の係長（男の方）に「どうかひとつ!」「そこをなんとか!」とお願いし、『かいじゅうたちのいるところ』を読んでもらった時のこと。いつもは落ち着いた男の子達も、夢中で身を乗り出して聞きました。私達には、その光景が脳裏にしっかりと焼きついています。読み終えた後の係長の実に嬉しそうな笑顔と共に…

#### これから

私達も、子供達の夢中な顔、心の動き、それを見つめる親御さんの表情に、やりがいを強く感じてやってきました。このような賞を頂けるなど、考えたこともありませんでした。が、町長、教育長はじめ、皆様から励ましのお言葉をいただき、気持ち新たに奮起しているところです。

ここには、一昨年、「おはなし そらぷちぺっ25」という空知全域の読み聞かせサークルのネットワークができました。交流、勉強、よい刺激をもらえます。

これからも多くの子ども達が、お父さんお母さんに絵本を読んでもらったり、自ら本に親しめるよう、橋渡し役として頑張っていくつもりです!

#### あとに続くグループに・・・

どちらのサークルも、それぞれに問題も抱えていらっしやると思います。手が足りない時は誰かに頼み、きっちり連絡でメンバーの和を保ち、やはり、しっかり練習したものを、楽しみながら子ども達に届けたいですね（これは、今、私自身にも言い聞かせているのですが…）。そうやって続けていけば、何とか定着していくのかなと思います。

近隣のおはなし会にも是非行ってみましょう!



野間読書推進賞（主催：（社）読書推進運動協議会）

## 十勝子どもの本連絡会（十勝管内 帯広市）

### 【 団体の概要 】

設立年 昭和 57 年

会員数 25名

代表者名 青柳 規子

代表の青柳さんに寄稿していただきました。今回の副賞を資金に、すぐにイベントを企画するネットワークのよさに脱帽です。

### 横のつながりを求めて

十勝子どもの本連絡会は今年で創立 27 年目になります。

会ができたきっかけは、30 年近く前、札幌市で開催された「北海道子どもの本のつどい」に参加した十勝おやこ劇場のメンバーが、参加者名簿を持って来て「十勝には子どもの本に熱意を持っている人がこんなにいる（10 名近くいました）んだし、連絡をとって情報交換が出来たらいいね」と今は亡き K さんが積極的に働きかけ、1982 年 4 月に十勝おやこ劇場と共催で加藤多一氏の講演会を開催して、発足会となりました。

教師、保育士、図書館司書、家庭文庫を開いている人、子どもの本が好きな人、童話を書いている人等、十勝管内に点在する、子どもの本に関心を寄せる人たちが、各々の活動や経験を交流していきうということでの会の名称も「十勝子どもの本連絡会」と決まりました。

### 十勝全域に広がる活動

会が発足して 3 年目に「第 7 回北海道子どもの本のつどい」を帯広市で開催、全道大会を開催したことで、道内各地での様々な体験、動きを直接聞くことができ、十勝子どもの本連絡会のこれからの方向がみえて来ました。

十勝の子どもたちに優れた本との出会いの場を作りたいと、「読み聞かせの講演会」「図書館を考える」「学校図書館を考える」等の勉強会、課題本を決めた「読書会」等、学習会を重ねて来ました。

釧路市の図書館で「子どもの本フェスティバル」が釧路子どもの本連絡会主催で開かれることを知り見学に行きました。行って見て驚いたのは、子どもの本に関わるサークルが沢山あること、会場ではサークルで読んだ本の展示とお話し会をみて、「釧路のように十勝でもやりたいね」ということで「十勝子どもの本フェスティバル」が始まりました。

「フェスティバルは座り込んでゆっくり本が読めるのがいい！」

1988 年の夏休み、デパートのカルチャーホールで開催した 6 日間に 5 千人以上の来場がありました。「本と遊ぼう、本で遊ぼう」のテーマで展示した本は 2 千 800 冊、本を自由に手にとって読める空間、時間の大切さを実感しました。半日椅子に座って、高学年向きの本を読破した中学生、連日通って沢山の本を読んだとノートに書いた書名を見せてくれた小学生もいます。本の展示だけでなく、講演会、講習会、人形劇、影絵、本の読み語り等、十勝で活躍しているサ



ークルがオール出演して協力してくれました。

この頃十勝には、子どもの本の読書会が三つ、お話し会をしているサークルは四つ、人形劇と影絵をしているサークルが四つ、文庫は、帯広市図書館が配本している市民文庫と家庭文庫が二つでした。25年の間に、お話し会をしているサークルは10倍以上に増えました。増えたのは、公共図書館が、お話し会を行うボランティア人材育成に力を入れているからで、十勝管内の図書館の全てにお話し会のサークルができ活動しています。小学校でも、学校図書館活性化支援事業で専門員やボランティアが活動し、平日のお昼休みにお話し会を開催、休日の土曜日に学校開放して図書館の本の貸し出しやお話し会を開催しているところが増えたからです。

フェスティバルの本の展示は、実行委員がテーマを決めて本を展示していましたが、回を重ねる毎に、サークルの展示が増えて、サークルの活動報告と交流の場になりました。フェスティバルをみに来た人が「楽しいお話し会をするためのヒント」を学校や地域のサークルの展示から学んで、お話し会を始めた、という声を沢山聞いています。

1990年からは、冬休みに「子どもの本の学校」と題し、子どもの本や、子どもの読書環境に関する学習会、子どもが楽しめる「絵本づくり」「工作教室」等を行っています。

18年間続けてきた講座では、「公共図書館」「学校図書館」「子どもの権利条約」「お話し会をしているサークルの交流会」「ブックトークの学習会」等、十勝の子どもの本に関わる人々に学習の場を提供してきました。一昨年の読み聞かせ講習会は初心者でなくサークルでお話し会を経験している人を対象としますと限定しましたが51名も参加がありました。

### 十勝の子ども文化に豊かさを！

私たちの会は「子どもの文化に大きな関心を！」「十勝の子ども文化に豊かさを！」という大きな目的を持って活動しています。

各々の所属するサークルの活動だけで大変だからと、個人加盟の十勝子どもの本連絡会には25名が会員になっています。夏休み・冬休みのイベントには実行委員会を組織して、サークルに呼びかけるので、継続していけるのかな？と思います。

フェスティバルが始まった時独身だったメンバーが、今では子どもの通う小学校の親として、学校のお話し会のサークルで活躍しているのは嬉しいことです。

思いがけず11月7日に第38回野間読書推進賞を受賞しましたので、いただいた副賞を活用して、地方都市ではお話を聞く機会があまりない講師を東京から招いて、講演会を来年3月に開催する予定です。(長倉洋海さんをお呼びします)

このたびいただいた大きな賞は大きな励みになりました。

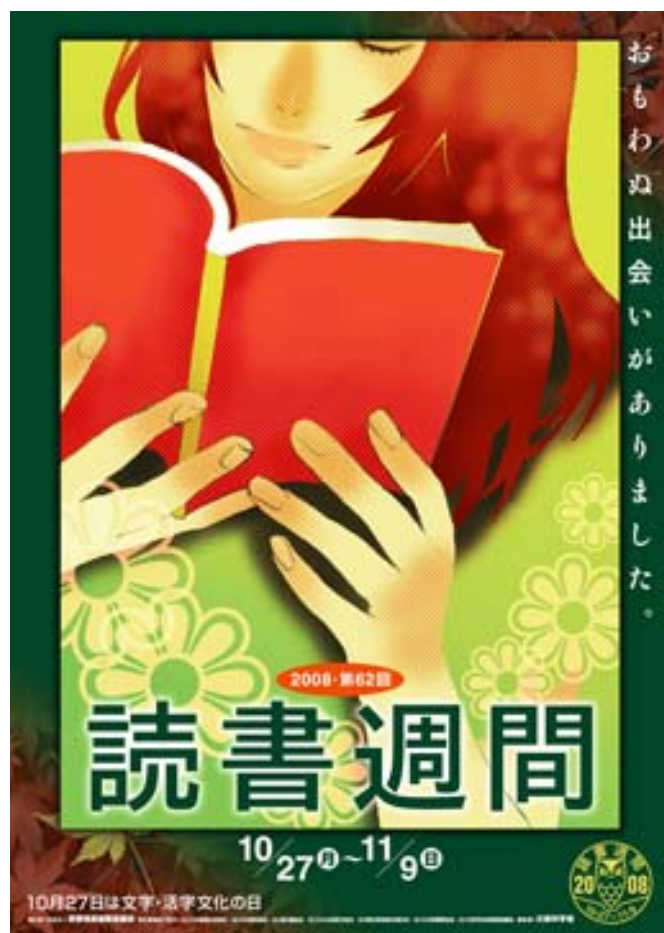
昨年の夏は「おはなしフェスティバル」として開催しました、受賞を機に「継続」を決意したところです。

野間読書推進賞受賞記念&帯広市図書館新館オープン3周年記念

**長倉洋海さん講演会** ~子どもたちの瞳の奥に~

平成21年3月7日(土) 14:00~16:00 帯広市図書館

※ 2月17日~3月8日 長倉さんの写真展を開催します。



---

## 北読進協だより 第17号

発行年月日 平成21年1月30日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町4-1番地

北海道立図書館業務部市町村支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063 (業務部直通)

---

「北読進協（ほくどくしんきょう）」は、（社）読書推進運動協議会発足の翌年、昭和35年に発足した、全道の読書普及に努めることを目的とする団体です。